

□には、リンクがあります。 □は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム みんなの家いずみ
日付	平成18年3月28日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス ■評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）	

外部評価の結果

簡評
全体を通して（特に良いと思われる点など）（記述式） 介護度が高い入居者が多く、歩ける人は2～3人しかいません。その中で、入居者全員ができることに喜びをもって、生活リハビリをしっかりと行っている施設だと感じました。入所したころは何かをすることにに対して嫌がる入居者も見られたようですが、職員の根気強い言葉かけと雰囲気作りにより次第に参加してくれ、食事の準備も全員で楽しくできるようになり、様々なアイデアが入居者から湧き出る「いずみ」となっています。メニューを決める事も相談できる場になり、作り方や味付けに至る一から十まで施設名「みんなの家」の如くみんなで作る楽しさを共有しています。 日中、子供たちの元気な声が入る小学校が施設に隣接し、校庭も良く眺めることが出来、運動会シーズンとなるとものすごい活気が伝わってきます。元教師の入居者も多く、小学生の交流のなかで子供達と接するときは、目が生き生きと輝き、背筋が伸びて昔の姿に戻っているようです。 入居者は全体に介護度が高く、意思表示のできない方も居られますが、時々表情やしぐさから入居者の思いを読み取れたときの職員は、満面の微笑となり、感動の1ページとなっています。
改善の余地があると思われる点（記述式） 台所の位置が壁側にあるため、職員は意識して見守りをしていますが、食事の準備が忙しくなると見守りが手薄になっている時がありました。もう一度、職員の立つ位置などを確認するといでしょう。服薬時、飲み終わるまでの確認が不足しているようです。初心に戻ることも必要だと思います。また、管理者は責任をもってよくやっていますが、仕事の割り振りをする事で、任せる人材育成もしてみたいかがでしょうか。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目 記述回答	グループホームとしてめざしているものは何か（記述式で回答） 「職員が楽しく仕事をしないと、よい介護はできない」との思いを持って入居者に接しています。「入居者本人や家族の希望に添えるように、また、人間らしく暮らしてもらいたい」と願っています。家族との信頼関係をきちんと築き、面会に訪れてもらいたいと思っています。レクリエーションなどはせず、生活を中心に考え、レベルを落とさないように取り組んでいます。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居居の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目 記述回答	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か（記述式で回答） 行動を制限していません。希望があればすぐに散歩や買い物に行っています。入居者に言われたことはすぐに実行しています。家族には頻繁に来てもらっています。来られないときは電話での訪問として、お願いしています。週1回は来てくれます。帰宅願望があれば、散歩に行き、会話の中で話題を変えています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画へ入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏かな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	ブライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目 記述回答	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か（記述式で回答） 昔、仕事で料理を作っていた入居者がいます。毎日のメニューは職員だけで決めます。相談しています。食材を伝えて何が出来るか教えてもらい、一緒に作り、そして、味付けもし、楽しい毎日を過ごしています。自主的にカーテンを開け閉めしてくれる入居者がいます。時間になると開け閉めしますので、季節によってはおかしなことになりますが、職員はいつも「ありがとう」と感謝しています。海軍でクラリネットを演奏していた入居者がいます。音楽療法を行うときにボランティアが来てくれるので、それを楽しみにしています。教員をしていた入居者も多くいます。隣にある小学校の生徒に言葉かけをし、和んでいます。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目 記述回答	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か 職員間でよく話し合いをしています。職員からも意見がよく出ています。また、入居者の見守りを重視しています。介護度の高い入居者も多くなってきたので、表情やしぐさから言いたいことや身体変化を判断するように努めています。転倒防止のために、居室のドアやトイレのドアに風鈴を取り付け、気がつくようにしました。インフルエンザなどの予防のために居室には加湿器を取り付け、加湿器がない部屋にはタオルを干して対応しています。緊急時に備えて、必要な居室には吸引器が置かれ、万全を期しています。		